

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認、病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用することにご了解いただけない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。

研究課題名	トランスフェリンの代替としてアルブミンを使用した尿蛋白選択性指数 (Selectivity index) の有効性の検討
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山 隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 循環器呼吸器腎高血圧内科学講座 (職名) 特任講師 (氏名) 荻田 昌敬
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2029 年 12 月 31 日
対象	2014 年 1 月 1 日から 2028 年 12 月 31 日に愛媛大学医学部附属病院において、検尿異常や腎機能障害の精査加療を目的として外来通院及び入院にて IgG、Tf、Alb の血中、尿中濃度が測定されていた、もしくは測定される方
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、尿検査、画像検査データ、治療状況 等
研究の概要	腎機能障害や蛋白尿を含む検尿異常精査、加療のため当院外来通院及び入院された患者さんの診療録 (カルテ) の情報を収集し、高分子量の蛋白質である IgG と中分子量の蛋白質でアルブミン (Alb) のクリアランスの比である Selectivity index (S.I.) が、従来使用されてきた IgG とトランスフェリンのクリアランスの比から算出された S.I. と比較して腎疾患の診断と転帰予測に有用かどうか？を評価する研究を行うことといたしました。この研究は蛋白尿を主体とした検尿異常や腎機能障害を有する患者さん全体における有効な検査や治療方法の検討を目的としたものであり、その結果は今後の診療にも役立てられると考えています。
個人情報の取扱い	収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。患者さんを特定するための情報 (対応表) は、院内で個人情報管理者が厳重に保管いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。

	また、保管される試料・情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院循環器呼吸器腎高血圧内科 莖田 昌敬 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5303